



最終号

発行人 鳳凰原岬
二〇二五年十一月 発行

今月の十人+1

亀田巧

鳳凰原岬

鳥さんの瞼

深山睦美

きんかく

彩結ゆあ

鈴木智花

森屋たもん

武井窓花

全美

ただのたなか

冬彦 鳳凰原岬

逆剥けを引いて舐めれば火の鳥の血も罪人の血も同じ味
将来の夢に古城と書きおりし少年時代いまは恥じいし
幾筋の涙に灼けて砂の声こぼせし喉はいつか去ぬまで
恋に身を預けて散った家もまた花占いの花の行く末
海にては息はひとえに空ならず しがらみの可視化のプロセス
わたしから兎を引いて犬を足しあなたをかけた解をおしえて
死後のことだれも知らないはずだからすこしだけすこしだけ楽しみ
希望なる光を得んとするものはみな空に手を伸ばすんだなあ
胸にある分化的名残遊びつつ胎児の頃の性を探した
ゆるすこと教わらずとも針をのむ人ものませる人も冬彦

行ってみたい 亀田巧

納豆のパックの蓋の矢印に従っている仕方ない朝
旧友に似ている人と勘違いして旧友を無視した駅前
俺以外みんな降り口まちがえて振り向いたとき生まれる微風
高架から見下ろしていたこの道をぶらつきながら見上げる高架
行ったのに「行ってみたい」で保存したままのGoogleマップの花屋
気になっていた雑貨屋が閉まって向かいのブックオフに向かった
ちよつとした段差みたいな階段の傾斜を選んで下る
光線のような西日を受け「これはニシビームだ」と考える輩
交番をいい人そうに眺めつついい人そうな歩幅で過ぎる
かつこよく方向指示器ひからせてファミリーカーがゆっくり事故る

ジャパン・イズ・バック 深山睦美

真つ当に生きてください3回も歌を歌ってあげたのだから
スプーンを曲げる角度で観客の首もぐにやぐにや曲がついていった
自殺ってこんな色かもふわふわの私にだけは懐かない犬
悲しみを秤にかけて私には悲しむ資格なんてなかった
外国製横綱ロボが日本製大関ロボをぶん投げている
魔法さえ使わなければ良いですよスパイ防止法防止法
ジャパン・イズ・バック・セイレキ・ナンネンノ・ジャパンニ・バック・するんでしょうか
オムレツがひよこの色と似てるのは何か理由があるんじゃないか
ゆっくりと死なせてほしい手のひらで鳥の臉を閉じるみたいに
満月にめっちゃ中指を立てられて、それを一緒に笑ってほしい

わたしはなにも 鳥さんの臉

でもいつか別れるときに繰り返し見る映画だと思って見ていた
首のない大中小のマネキンが並んでいても家族とわかる
出来るだけ暗がりにおくもう一度発芽しないでほしい話題を
使えないとか使えるときか人に言う世界のすべてに値段はついた
うつくしい頭痛のように生きてゆく意味のことなど考えないで
コピー機の温度はのかに生まれたらたぶん壊れるまでは働く
収穫のために果実は植えられてわたしはなにも産まない機械
とうめいなパックに10個ずつ全とおんなの鳥からうまれた卵
検索をすれば中古の骨壺もあつてこの世のにぎやかなこと
身体からこころを剥がすようにしてバファリンルナは少しずつつ効く

等身大鉄道 彩結ゆあ

さよならを言えないひとが建設を続ける銀河鉄道ぬくもり
欲しがりで花鳥風月ばかり詠む少女のままを望んで死にたい
無果汁のアセロラジュースにもあった救いのための研究結果
乗ってきたひとが先に降りていくこんなことでは報わなくてね
微熱あり嬉しいこういうときにだけ生まれてくれる感性がある
そらみみも全部ほんとのことだよと季節は逃げるように巡って
約束はいつまでも有効だから傘を何本変えても祈る
死にたさはどんな形にもなれるからまずはプラネタリウムで仮眠
もう一度チャンスがあるか神に問う プラスチックの分別が下手
ちっぽけな空の彼方へ何を想うなめたけごはんて世界征服

暗い寝室 きんかく

本当に秋は煙草が美味しくていつから息を止めてましたか？
おかげです 届かないのに愛情を打っては消して打ってる人は
体内の秋が氾濫したせいで淡くまだらに濃くなる枕
鈴虫がうるさいくらいに鳴いていて寂しくなれない夜でよかった
疲れたら休めばいいよ柏手のようにライター2回鳴らして
また会えるみたいな顔でjasmineは咲くから泣ける時に泣きなよ
秋風に膨らむカーテン（テッテテーン）窓際の悲しみをさらって
果てしないほどに泣いても生きていて皮膚という名の臓器が乾く
魂の季節だったねニーチェから教えてもらった秋というのは
心臓は暗い寝室だったのにあなたが風を通してしまう

リカバリ 森屋たもん

マドレーヌ浸して食べるリカバリウェアをみんなが信じてたころ
ノープロブレムTシャツのロゴ読んでくれる前提で買ったとしても
カッターを握って部屋を出る誰かのナイキのマーク剥がしてみたい
純粋な危険サッカー少年がドリブルで行く狸穴街道
ランドセルの捨て方がよくわからない使用済みおむつ詰めたら可燃？
言ってみたかった言葉を言ってみる相手にされがち 僕バカだから
ブルースト効果どっちについていくことになっても未来はこんな

緑の小鳥 鈴木智花

わたくしの緑の小鳥死ににけり夏のをはりの或る夜のこと
碧玉の羽根の色濃くうつくしく飛ぶにつけてはいと悪しき鳥
小さく鳴き大きく吐いてそれつきりお前のからだは死んでしまつた
チピチピとさへづりときにギヤアと鳴くこゑをいつかは忘れてしまふ
埋めなくては埋めなくてはと思ひつつまだ冷凍庫に眠れる小鳥

岬を発つ 全美

全て美しさのためであった夜毎にひかるあなたの言葉から
 齒に夢が詰まって取れない夢を見た夢占いはあてにならない
 愛されてよかったはずの人たちから愛されなかった人生とは
 騙されて泣く人なんていないから強くなれた気だけしてる
 歩かないために作られた動く歩道で歩く人を見送る
 口元にできたニキビは呪いです はやくキスして解いてください
 正直に言えばきつと傷つける印をつけたからもういいよ
 海牛のようなきみの唇がみように恋しくなつて十月
 苦しさがあったものになったとき柔らかくなる時間のベッド
 いらなと言われてもいいそろそろ岬を発つ時間を振り合う

smile 武井窓花

お魚が五匹ならんで光ってる血縁が重たくぶら下がる
 見られたくはないものばかりわたくしという食べものにもなれないお花
 脳梁をゆつくり渡るひとがいてたまには少し笑ってほしい
 冗談を。これはささやかな贈り物、ほんとうよ決して忘れないで
 明日は雨なんて誰が決めるのだろう裏庭に増えてゆく空き瓶
 誰ひとり悲しまないでいて欲しい月の裏側を撫でている
 偽物の床の手ざわり少しだけ熱を分けてやってから立ち上がる
 明日までに荷造りはすませておいてとても揺れやすい汽車に乗ってゆく

X account

| | |
|--------|------------------|
| 亀田巧 | @kamedatakumi |
| 鳳凰原岬 | @2000misaki0323 |
| 鳥さんの臉 | @withoutSSRI |
| 深山睦美 | @57577_77575 |
| きんかく | @kingkaku_tanka_ |
| 彩結ゆあ | @iromusubi_yua |
| 鈴木智花 | @suzukitomoka106 |
| 森屋たもん | @monsontanka |
| 武井窓花 | @tanka_madoka |
| 全美 | @ZENMIN15 |
| ただのたなか | @Shironopa_ka_ |

月の裏側のカニカマ ただのたなか

コンビニの照明のなか生きていて月の裏ではカニが泣いてる
 消費期限昨日できた卵割る消費できない言葉ばかりで
 それっぽい生を謳歌するスーパーマーケットに並ぶ偽物たちよ
 隣人の洗う食器の音だけがリアルに響く缶を潰す
 渋谷では誰かがずっと生配信生きてることを証明してる
 努力より要領の良さが評価されそれっぽい顔で愛されている
 真実はいつも重すぎてポケットに入るくらいの嘘を選んだ
 一駅分歩いて節約するくせにUberの配達が通知に並ぶ
 半額のシールが貼られてなお残る選ばれなさに値札はなくて
 カニカマはきつと海の夢を見ない着色料にまみれたキスを

デザイン・編集
 はるかぜ @spring-bird-gr

